

村田四郎の

ここでしか聞けない話 part 9

講師：村田四郎 フルート

愛知県立芸術大学名誉教授、名古屋音楽大学大学院客員教授

丹下聡子 フルート、博士（音楽）

愛知県立芸術大学音楽学部非常勤講師

2018年10月25日（木） 18:00 - 19:30

愛知県立芸術大学 室内楽ホール

講義概要：

1. 記譜の習慣と演奏解釈について
(モーツァルトとベートーヴェンの作品の例による)
2. 様式や表現の変遷を2本のフルートで追う

フルートの前身、フラウトトラヴェルソ(1鍵)から、時代とともにいわゆる“音のニーズ”に対応して～4鍵～8鍵～12鍵と改良が加えられてきた背景のもと、18世紀（後期バロック・古典）～19世紀中頃の間「2本のフルートのために書かれた作品」をとりあげ、“様式”や“表現”の変遷を追う。

登場する作曲家

Wilhelm Friedemann Bach (1710-1784)

François Devienne (1759-1803)

Bernhard H. Romberg (1767-1841)

Ludwig van Beethoven (1770-1827)

Benoit Tranquille Berbiguier (1782-1835)

Daniel Friedrich Rudolph Kuhlau (1786-1832)

Jean-Louis Tulou (1786-1865)

Eugène Walckiers (1793 - 1866) 他

どなたでも参加できます。参加無料。